

祝

本宮市消防団 福島県消防操法大会で優勝！

本宮市消防団は、8月24日に福島県消防学校で行われた第36回福島県消防操法大会「小型ポンプ操法の部」で見事優勝を果たしました。

福島県消防操法大会は、消防技術の向上を目的に、1年おきに開催されており、今回の大会には「ポンプ車操法の部」と「小型ポンプ操法の部」に各15チームが出場し、操法技術の正確性と早さを競い合いました。

県大会に出場した本宮市消防団白沢地区隊第6分団は、7月13日に行われた本宮支部予選会を勝ち抜いて出場したもので、5月1日の訓練開始から実に60日に及ぶ練習を重ね、本宮支部では2度目となる優勝を飾り、優勝旗と金ばれんを持ち帰りました。

また、開会式・閉会式では本宮支部ラッパ隊がファンファーレ演奏を務めるとともに、息のあった見事なドリル演奏を披露し、来場した観客から惜しみない拍手が送られ、大会に華を添えました。



▼操法開始

▼ホース延長

▼吸管接続

▲放水して水を倒す

▶本宮支部ラッパ隊でファンファーレを担当

よろこびのコメント!!



渡辺一雄団長
この度、福島県消防操法大会において本宮市消防団が優勝することができたことは大変喜ばしく思うとともに、「本宮市消防団ここにあり」を強く印象つけた大会となったと考えております。長く厳しい訓練の分りこえ、素晴らしい操法をみせていただいた白沢地区隊第6分団に敬意を表するとともに、ご指導、応援いただいた皆様にあらためて感謝申し上げます。



分団長 松沢勇二さん
悪天候にもかかわらず、多数の方に応援をいただき、大変ありがとうございました。また、この大会を迎えるまで多くの激励、ご指導のおかげで誠にありがとうございました。



1番員 菊地良典さん
大観衆の中、緊張しましたが自分達の力を出し切る事だけを考えて競技しました。今までご指導、激励、応援して下さいの方々のお力添え無くして県大会で優勝することはできませんでした。本当にありがとうございました。



3番員 安沢耕一さん
自分も選手として、やるからには、「一切の妥協なし」の気持ちで頑張りました。日々の訓練にのぞんで来ました。また、この約4ヵ月間、自分のわがママを最後まで聞いてくれた家族に心から感謝したいと思います。



指揮者 荒川卓士さん
なぜか予選より緊張も少なく大会にのぞめました。それに雨も見方につけ見事金ばれんを手に帰還できたのはとても嬉しく、これもひとえに激励、指導、そして支えてくれた家族を含め皆様のおかげだと思います。本当にありがとうございました。



2番員 三瓶利勝さん
きたぁー 最高！6分団最高！ボルトも最高！気持ちいいー 超気持ちいいー みんなありがとう。関係者の皆さん、いろいろお世話になりました。これでやっと退団できます!!



4番員 橋本耕太さん
5月からの練習解禁から約4ヵ月間6分団が一つになり頑張った結果、勝ち取った優勝です。
市消防団幹部、各分団幹部・団員各位、地元松沢の皆様には御指導、激励大変ありがとうございました。

本宮市内の活断層は… 災害に備えを

本宮市内には活断層はあつたのでしようか。地震や活断層について調べてみました。

●地震はなぜ発生するの？

地面の下の岩石にはとても大きな力がかかっており、ある時、岩石がずれるように壊れます。このときの岩石のずれが地表でゆれとなって現れます。この現象を「地震」といい、ずれの量が大きくなるほど大きな地震になります。日本の周りでは、太平洋プレート、フィリピン海プレート、ユーラシアプレート、北米プレートが複雑に入り組んでいる場所であるため、日本は地震が多いのです。地震の代表的なタイプは、プレート同士の境目付近で起きる「海溝型地震」と内陸で発生する「活断層地震」です。「活断層」とは、繰り返し地震を起こし、今後も発生すると考えられる断層のことをいいます。

●県内の活断層の分布

福島県内には、3つの活断層帯があることが分かっています。会津盆地西縁断層帯、



福島盆地西縁断層帯と双葉断層です。本宮市内には活断層は確認されておりません。しかし、

活断層がないからといって安心はできません。日頃から地震に対する備えをすることが大事です。

●地震に対する備え

□家の中やそのまわりもチェックしましょう。
①家具は倒れないように金具などで固定する

- ②食器棚など、扉が開かないように金具をつける
- ③逃げ道を確保するため、ドアの近くに倒れやすいものを置かない
- ④家のまわりのブロック塀は安全か確認する
- 家族でいざという時のためにどうすればよいか話し合います。
- ①家の中で危ないところはありますか
- ②避難場所はどこで、安全に行く道はわかりますか
- ③連絡方法は決めていますか
- ④避難場所を持って行くものは用意できていますか
- 地震にあつた時には
- ①あわてない
- ②身を守る
- ③落ち着いて行動するということが大切です。

●持ち出し品の用意を

災害時は電気、水道などのライフラインはストップします。それらに備えて、家族が3日間過ごせるぐらいの水や食料、衣類の準備をしておきましょう。

【一例】

- 水 ライター ローション
- ラジオ 懐中電灯 食料
- 医薬品 カセットコンロ
- 雨具 トイレットペーパー
- など

※この記事は、文部科学省地震・防災研究課発行「地震を知ろう」を参考としました。



◆問い合わせ先
生活安全課 消防防災係
(☎内線112)

頑張る市民のみなさまを応援 基金の活用状況報告

地域づくりにがんばっている団体へ、3つの基金を活用し支援する団体名と交付決定額を下記のとおりお知らせします。

●子ども基金助成金

- ①育児クラブ木曜コース (83,600円)